

科目ナンバリング					
授業科目名 <英訳>	クリニカルインフォマティクス(基礎検査医学) Clinical Informatics	担当者所属・ 職名・氏名	非常勤講師 鶴山 竜昭		
配当学年	修士	単位数	2	開講年度・開講期	2025・後期
曜時限	水5	授業形態	講義(対面授業科目)	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
生命科学・基礎医学と臨床医学を結ぶ橋渡しとして、検査医学の基礎や遺伝子解析、検査データの解釈プロセスを学生に理解させることを目的とする。特に、検査や診断方法に関する系統的な教育の機会が少なかった医科学専攻の学生に対し、幅広い知識を提供することで、検査や治療薬の臨床的な観点を養う機会を提供する。					
【到達目標】					
臨床診断の概要を理解することで、生命科学、病理学、検査医学と臨床医学の間にあるギャップを埋めることを目指した講義である。これにより、より臨床的な視点から創薬について考えられるようになることを目標とする。					
【授業計画と内容】					
【場所: MIC棟 1階 セミナー室、 曜時限: 水曜 5 限】					
第1回	10月 8日(水)	検査、診断とはなにか(1)			
第2回	10月15日(水)	検査、診断とはなにか(2)			
第3回	10月22日(水)	臨床検査の入り口から出口まで(検体検査のサンプリングから報告まで)(1)			
第4回	10月29日(水)	臨床検査の入り口から出口まで(検体検査のサンプリングから報告まで)(2)			
第5回	11月 5日(水)	臨床検査医学におけるデータの読み方と考え方(正常と異常)、統計学的な解釈(基準範囲、臨床判断値、パニック値)(1)			
第6回	11月12日(水)	臨床検査医学におけるデータの読み方と考え方(正常と異常)、統計学的な解釈(基準範囲、臨床判断値、パニック値)(2)			
第7回	11月19日(水)	一般検査、血算・血液検査、遺伝子、病理検査の概要(バイオマーカー)(1)			
第8回	11月26日(水)	一般検査、血算・血液検査、遺伝子、病理検査の概要(バイオマーカー)(2)			
第9回	12月 3日(水)	遺伝子検査技術とプレジジョンメディシン(1)			
第10回	12月10日(水)	遺伝子検査技術とプレジジョンメディシン(2)			
第11回	12月17日(水)	コンパニオン診断と分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の適応(1)			
第12回	12月24日(水)	コンパニオン診断と分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の適応(2)			
第13回	1月 7日(水)	病理検査における免疫学的な理解と抗炎症剤・免疫抑制剤(臓器移植、潰瘍性大腸炎を例に)(1)			
第14回	1月14日(水)	病理検査における免疫学的な理解と抗炎症剤・免疫抑制剤(臓器移植、潰瘍性大腸炎を例に)(2)			
第15回	1月21日(水)	臨床検査機器の最前線(質量分析、分光光学、人工知能の応用、そのほか)			
----- クリニカルインフォマティクス(基礎検査医学)(2)へ続く -----					

クリニカルインフォマティクス(基礎検査医学)(2)

【履修要件】

これまで、臨床検査、病理検査の系統的な講義を受講したことがない医科学大学院生を対象とする。

【成績評価の方法・観点】

講義終了後のレポート

【教科書】

講義担当教員が用意、特に指定はない。

【参考書等】

(参考書)

『がんゲノム病理学』(文光堂)

【授業外学修(予習・復習)等】

特になし

(その他(オフィスアワー等))

【連絡先】

創薬医学講座事務室 (contact@ddm.med.kyoto-u.ac.jp)

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。